



西高祭楽しかったね。とりえず天気は何とか持ちこたえました。みなさんの日頃の行いが良かったからだと思います。そして、バタバタだったけど、なんとかなってなによりです。

模擬店は、代金が発生し、販売時間は限られる中で販売個数のノルマもあり、そもそも食品を扱うこと自体に注意事項が多く、本当に大変だったと思います。また、お客さんがいて初めて成り立つことでもあり、おもてなしすることや楽しませることの難しさも体験できたのではないのでしょうか。

さらに、みんなの代表として頑張ってくれた文化委員は、ただでさえ大変な模擬店の企画・運営の中で、クラスをまとめていく難しさも学べたと思います。「自覚・責任」が伴う役割を担うことは、とても良い経験になります。企画・運営・オープニングで活躍した生徒会執行部。クラス T シャツをはじめ準備などで活躍した西高祭実行委員。T シャツグランプリに出場することも立派な役割。活躍した場面はそれぞれあったと思いますが、やはり任されたことには「自覚・責任」が伴っていたと思います。今回そういった活躍してくれた人に感謝します。大変でしたね、ありがとう。でも苦労した分、得たものはあったよね(^^♪

さて、来年は舞台発表ですね。舞台発表は「自覚をもって責任を果たす」だけでは面白くないかもー。「感動させる・魅了させる・楽しませる」こんな目標をもって舞台発表に挑みたい。自覚や責任という自分に向けたベクトルを次は外へ向けてみよう。人の心を動かすのは、またさらに大変なことです。挑戦したもののだけにしか見えない景色を、来年は 45 回生全員で拌みに行こう!!

以下、写真は 6/13 (木) 午後の準備の様子です。当日の様子は、またアンケート結果と合わせて、次号にでも掲載しますね。とにかく、なるべく早く通信を発行したかったんです。なぜなら期末考査モードに切り替えてほしいからー。

「本当の勝敗というのは、試合の直後ではなく、その後の人生で決まるのではないか。」by ジネディーヌ・ジダン (サッカー選手)
西高祭の本当の価値は、西高祭の後に決まるということです。西高祭を通して得たものを、次はどこで生かすのかー。そうです、期末考査です。あなたの目の前にある期末考査をどう取り組むかー。ぜひ、今回の西高祭を価値あるものにして下さいね☆

